



©Felipe Sanguinetti

演出：ロバート・カーセン

これまでに手がけたオペラ作品は、メトロポリタン歌劇場、シカゴ、ジュネーヴで《ばらの騎士》《エフゲニー・オネーギン》《メフィストフェレ》、パリ・オペラ座で《タンホイザー》《魔笛》《エレクトラ》《カプリッチョ》《ボレアド》《ルサルカ》《アルチーナ》《ホフマン物語》《ローエンングリン》《ナブッコ》《カプレーティとモンテッキ》《マノン・レスコー》、シャンゼリゼ劇場で《オルフェオとエウリディーチェ》《アルミード》《オルランド》《フィガロの結婚》、エクサンプロヴァンス音楽祭で《真夏の夜の夢》《リゴレット》《セメレ》《オルランド》、ミラノ・スカラ座で《西部の娘》《CO2》《ファルスタッフ》《ドン・ジョヴァンニ》《ホフマン物語》《カーチャ・カバノヴァー》《カルメル派修道女の対話》、フェニーチェ歌劇場で《椿姫》《リチャード3世》《マクロプロス事件》、グラインドボーンで《リナルド》《ポッペアの戴冠》、ミュンヘン、ベルリン、コペンハーゲンで《ナクソス島のアリアドネ》、アン・デア・ウィーン劇場で《ヴォツェック》《アグリッピーナ》《プラター》《ねじの回転》、ベルリン・ドイツ・オペラでグラナート《Oceane》、《3つのオレンジへの恋》、チューリヒで《ヘンゼルとグレーテル》《スペードの女王》《ランメルモールのルチア》、ラン国立歌劇場でヤナーチェク・チクルス、ケルン、ヴェニス、上海、バルセロナ、マドリッドで《ニーベルングの指環》など。

演劇は、ピッコロ劇場で《肝っ玉おっ母と子供たち》、コメディ・フランセーズで《テンペスト》、ブッフ・デュ・ノール劇場とスポレート音楽祭で《乞食オペラ》、シャトレ劇場で《雨に唄えば》《マイ・フェア・レディ》《キャンディード》を演出。

グラン・パレの「マリー・アントワネット」「ボエーム」「空へ、海へ、彼方へ―旅するルイ・ヴィトン」、オルセー美術館の「印象派と流行」「栄光と悲惨」、ガリエラ美術館の「ダリダ」、エコール・デ・ボザールの「シャルル・ガルニエ―帝国の建築家」、英王立美術院の「近代の庭を描く―モネからマティスまで」各展でも演出やデザインを手がけた。

今後はアムステルダムで《道化師》《カヴァレリア・ルスティカーナ》、スカラ座で《ジュリオ・チェーザレ》、チューリヒで《アラベラ》を手がける。